

鹿児島市立病院再整備基本設計について

目次	ページ
1 基本方針……………	1
2 建築計画……………	1
3 配置計画/動線計画 ……	2
4 平面計画……………	3
5 感染症対策……………	10

鹿児島市立病院再整備基本設計について

鹿児島市立病院再整備計画をもとに、拡張可能な整備面積の有効活用を図り、診療機能の充実や今後のDXの推進、職員が働きやすく安全な環境の整備を図るための検討を進めてきましたが、この度、病院再整備基本設計がまとまりました。



電車通り側から見たイメージ

2 建築計画

(1) 部門構成 (増築棟)

① 高度医療機能の向上 (3・4F)

手術部門、ICU、MFICUは、増築と既存部分を一体的に拡張整備し、高度医療機能の更なる向上を図る。

② 研修機能の強化 (4F)

研修生、実習生の研修環境を整えるために、研修センターを新設する。

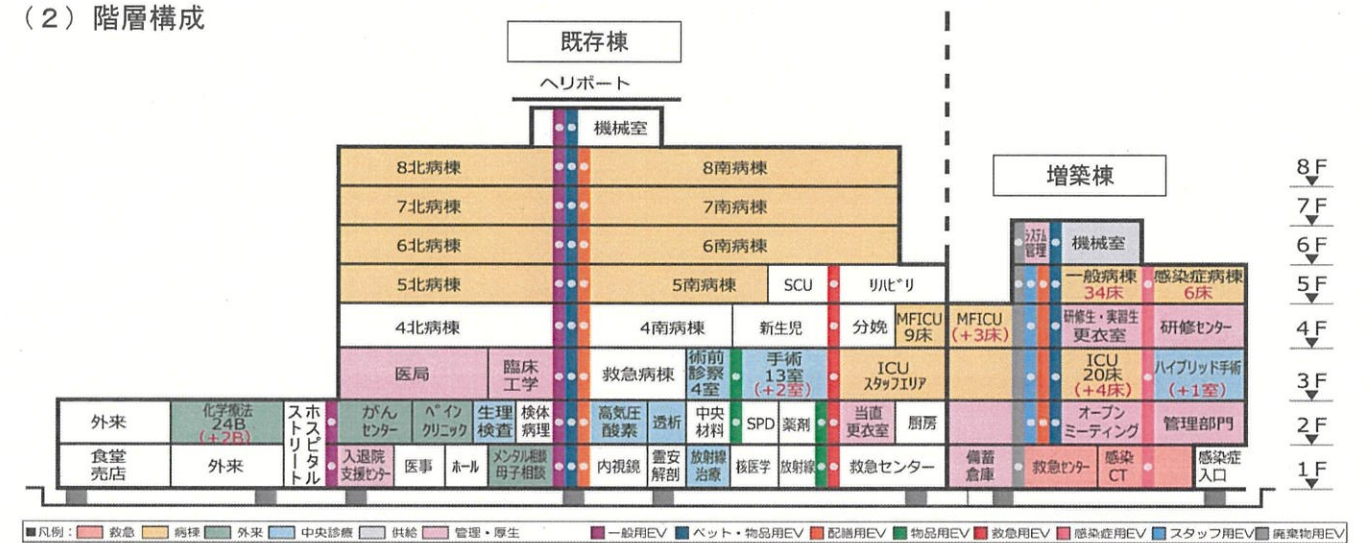
③ 感染症病棟の独立化 (5F)

5階に感染症病棟を配置。1階の感染症入口から専用エレベーターで搬送し、他の動線と交錯がない計画とする。

④ 働きやすい環境の整備 (2~5F)

各階にスタッフが業務や休憩など多目的に活用できるオープンミーティングスペースを整備する。

(2) 階層構成



(3) 建築概要 ※下線部は連結免震構造の採用により、当初計画に対し面積が拡張した部門

① 増築棟

ア 病床数 : (3F) ICU 20床 / (4F) MFICU 3床
 ※増築棟に集約 (当初計画: 既存棟)
 (5F) 一般病棟 34床 / 感染症病棟 6床

イ 建築面積: 1,920.06 m²

ウ 延床面積: 7,986.06 m² (当初計画: 約 7,200 m²)

エ 建物規模: 地上6階 (当初計画: 5階)

オ 構造 : 鉄骨鉄筋コンクリート (SRC) 造、
 一部鉄骨 (S) 造 (基礎免震構造)

② 既存棟 (改修部分)

ア 改修対象: (1F) 入退院支援センター
 (2F) 外来化学療法部
 がんセンター
 生理検査室
 (3F) 医局
 手術室 等

イ 改修面積: 5,608 m² (当初計画: 約 3,100 m²)

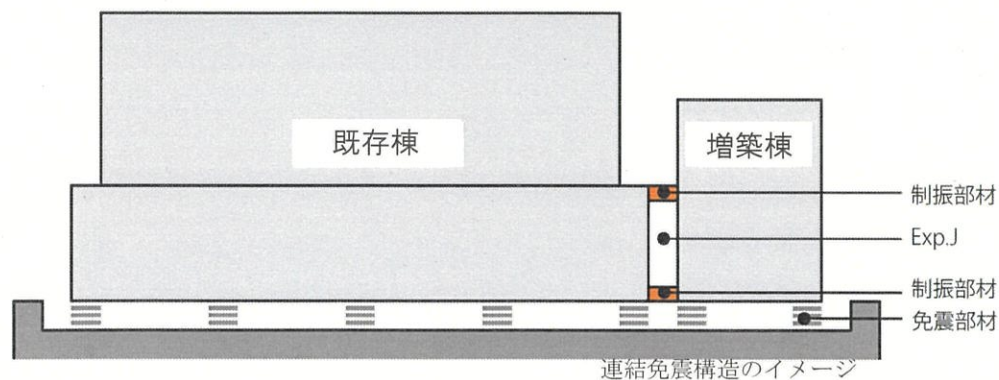
(4) スケジュール (予定)

- ① 実施設計 : 令和5年度
- ② 建築工事 (増築棟) : 令和6年度~9年度 (当初計画: 6~7年度)
- ③ 供用開始 (増築棟) : 令和9年度 (当初計画: 7年度)
- ④ 改修工事 (既存棟) : 令和10年度~11年度 (当初計画: 8年度)

※通常診療を継続しながら部門ごとに順次改修。

1 基本方針

- (1) 「連結免震構造」による「高い耐震性能を確保」
- (2) 増築と既存部分の平面融合で「医療機能の更なる向上」
- (3) 感染症拡大時は「一般病床を感染症病床に段階的に転換」
- (4) スタッフの「働きやすい環境の創出」
- (5) 診療と改修工事の両立を図る「安心安全な施工計画」



配置計画と動線計画

(1) 配置計画

【増築計画地のポイント】

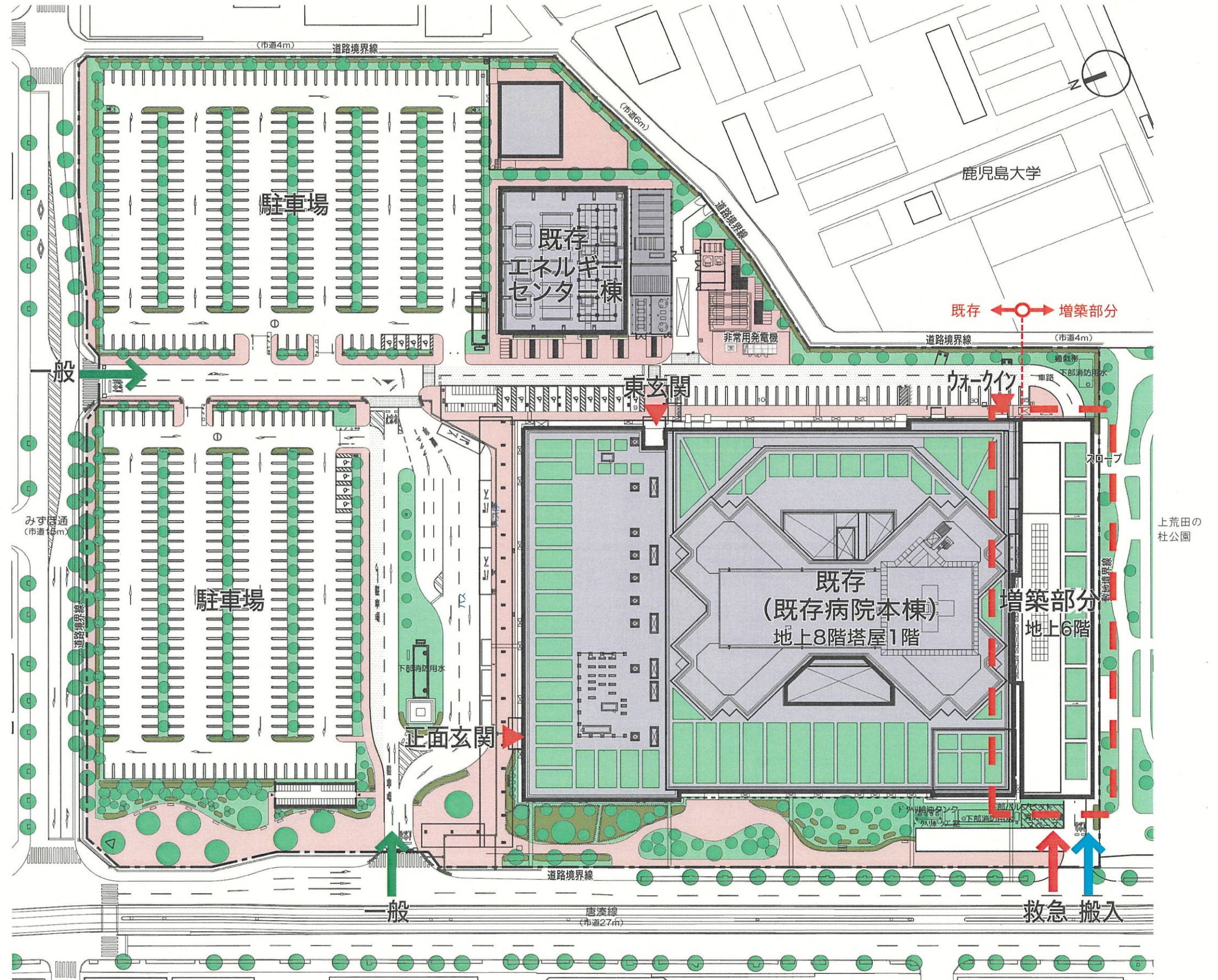
- ・既存病院との一体的な運用を可能とする配置とすると共に、工事期間中の病院運営の影響を最小限とするよう計画を行う。
- ・増築部分の1階に駐車場を計画、駐車台数を減らさない計画とする。

上記の条件下、増築計画は、既存病院の南側と敷地境界線との間に計画を行う。

- ・増築部分は、鹿児島大学への日影の影響を避けるため、東西軸の建物長さを既存と同等とする。
- ・増築部分の建設に先立ち、建設地の埋設管、ドクターヘリ用燃料タンクは、盛替え工事を行う。

(2) 動線計画

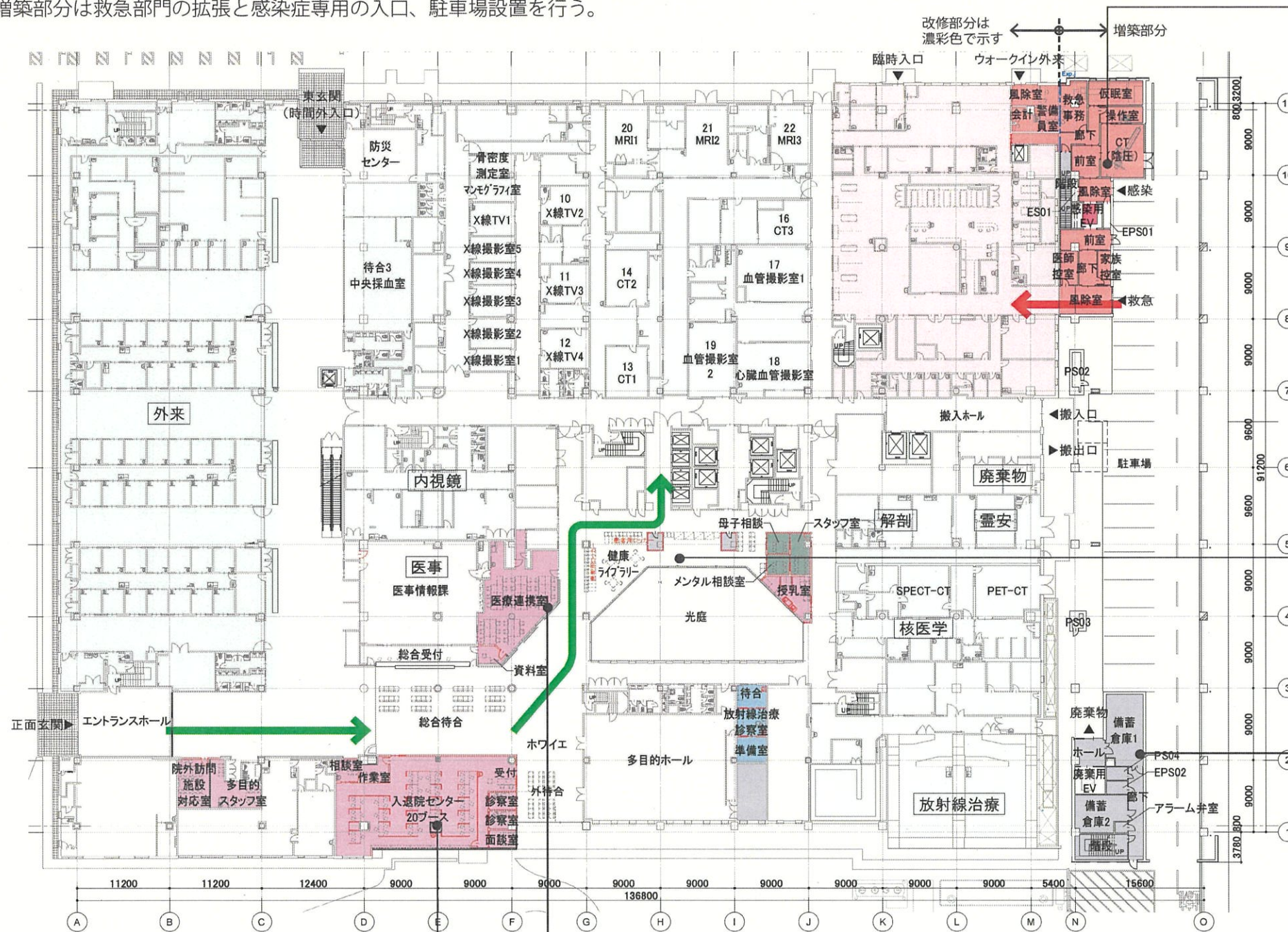
- ・一般車両の出入口、駐車場のアクセス、救急車動線は、現状位置を変えない計画とする。



配置図 scale:1/1200

平面計画 1 (1階)

患者サービスの向上のため、入退院支援センター、医療連携室の拡張整備を行う。
増築部分は救急部門の拡張と感染症専用の入口、駐車場設置を行う。



【救急部門】

増築に伴い、救急部門の既存部分も含め拡張整備を行う。
増築部分には、迅速な検査を実現するため、CT室の増設を行う。
執務環境の改善のため、スタッフ諸室の増設を行う。
救急車からの感染症患者対応のため、専用の出入口と専用エレベーターを計画する。

【ラウンジ】

図書スペース（健康ライブラリー）や自販機コーナーを移設、患者用ロッカーを増設したラウンジを計画する。

【備蓄倉庫】

災害備蓄倉庫を、外部から搬出入しやすい増築部分に配置する。

【入退院支援センター】

既存を一部増築することでスペースを拡張し、総合受付の正面に入退院支援センターを配置する。
プライバシーにも配慮した相談カウンターを20ブースに増設、診察室も併設し、1つのエリアで手続きを終えられるように計画する。

【医療連携室】

医療連携室の拡張を行う。

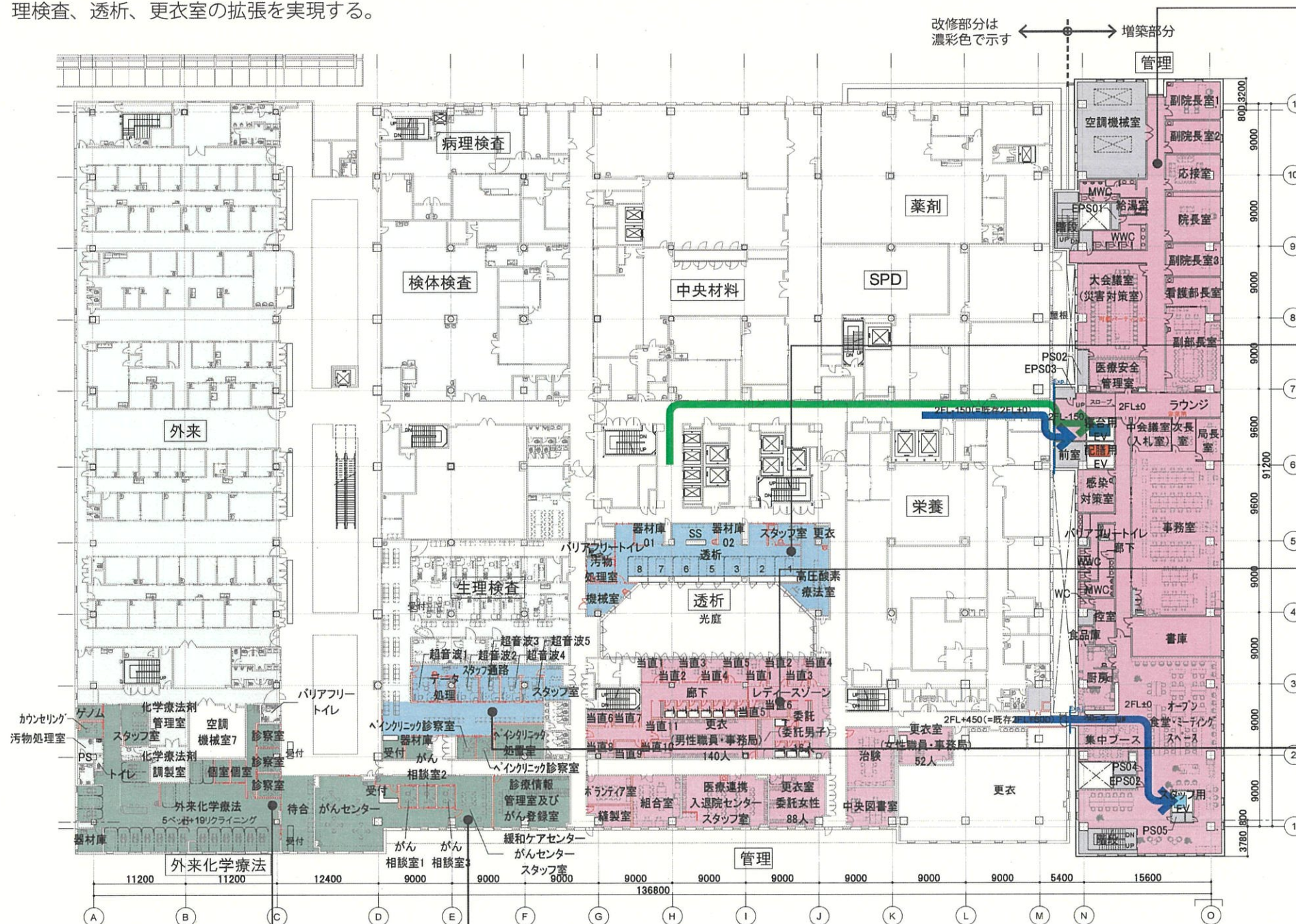
凡例

- ← 救急動線
- ← スタッフ動線
- ← 患者動線

1階平面図 scale : 1/600

平面計画 2 (2階)

既存の機能を一部増築部分へ移設。移設後、既存跡地を改修して外来化学療法、がんセンター、生理検査、透析、更衣室の拡張を実現する。



【管理部門】
 増築部分に管理部門を集約配置する。
 スタッフの食事、休憩、会議など、多目的に活用できる「オープンミーティングスペース」の配置を行う。

【透析】
 SS (スタッフステーション) を中心にベッドを配置、急変にも迅速に対応できる構成とする。
 床段差のない計画とするため、透析配管は、床上のカウンター内に設置を行う。

【当直】
 3階から2階へ当直室を移設する。
 女性スタッフのプライバシーとアメニティ向上を目指し、新たにレディースゾーンを計画する。

【生理検査】
 検査数の増大に対応するためエコー室の増設を行う。
 データ処理室を設置する。
 新設する超音波室の2室は、ベッド搬送に対応できる計画とする。

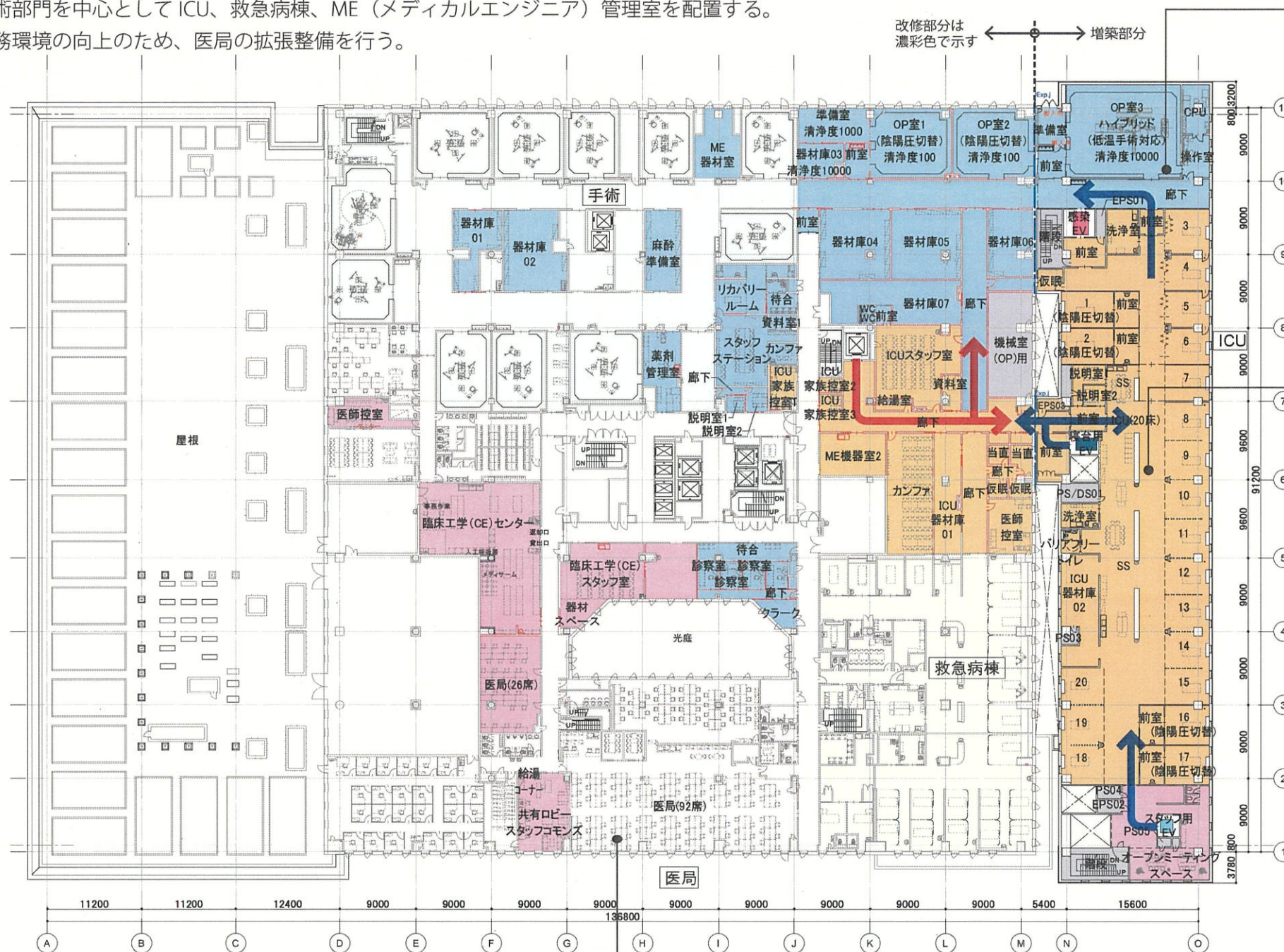
【外来化学療法】
 患者増加に伴い、22床から24床へベッド数を増やす。全体のスペースを拡張し待合スペースの拡大や合理的な動線計画を行う。

【がんセンター】
 分散している相談室を1か所に集約し、患者の利便性向上を図る。
 相談室は、プライバシーに配慮し、遮音仕様の壁や扉で計画する。

凡例
 ← スタッフ動線
 ← 患者動線
 2階平面図 scale : 1/600

平面計画3 (3階)

既存と増築部分を一体的な平面として手術部門とICUの改修整備を行う。
手術部門を中心としてICU、救急病棟、ME (メディカルエンジニア) 管理室を配置する。
執務環境の向上のため、医局の拡張整備を行う。



【手術部門】
既存と増築部分を構造的、機能的に一体化、手術部門の拡張整備を行う。
既存ICUの一部を増築部分へ移設し、手術室を2室増設する。
増築部分には、より高度な手術に対応するため、ハイブリッド手術室を1室計画する。
手術部門の拡張に伴い、器材庫、薬剤管理室、麻酔準備室、SS (スタッフステーション) の拡張整備を行う。

【ICU】
SS (スタッフステーション) を中心に見通しの良い直線廊下にベッドを配置し、患者観察が行いやすい計画とする。
ICUを2分割 (6床+14床) の運用を可能とし、6床側を感染症対応ICU病棟とする。内部には陰陽圧切替病室を計画した上で、感染症用エレベーターを配置、感染症患者の管理に万全を期する。
スタッフ室、カンファレンス室、医師控室の拡張整備を行う。

【医局】
一人あたりの占有面積の狭さやコミュニケーションの場が不足している問題を解消するため、医局のスペース拡大を行う。
医局内部に談話スペースとしてスタッフ commons を計画する。



平面計画4 (4階)

既存と増築部分を一体的な平面として MFICU の改修整備を行う。

研修機能の強化のため、各種研修機能を整備し、スペース拡張を計画する。



【MFICU】
 今後も需要が見込まれる MFICU を 3 床増設する。
 SS (スタッフステーション) を中心に既存部分も含め、見通しの良い直線の廊下に全ての病室を配置し、観察性を高め、迅速な対応が行いやすい計画とする。

【研修センター】
 看護師特定行為研修や各種シミュレーターの使用を可能とした研修センターを新たに計画する。

【更衣室】
 研修生・実習生等の更衣室やロッカー室を増設し、研修環境の充実を図る。

凡例

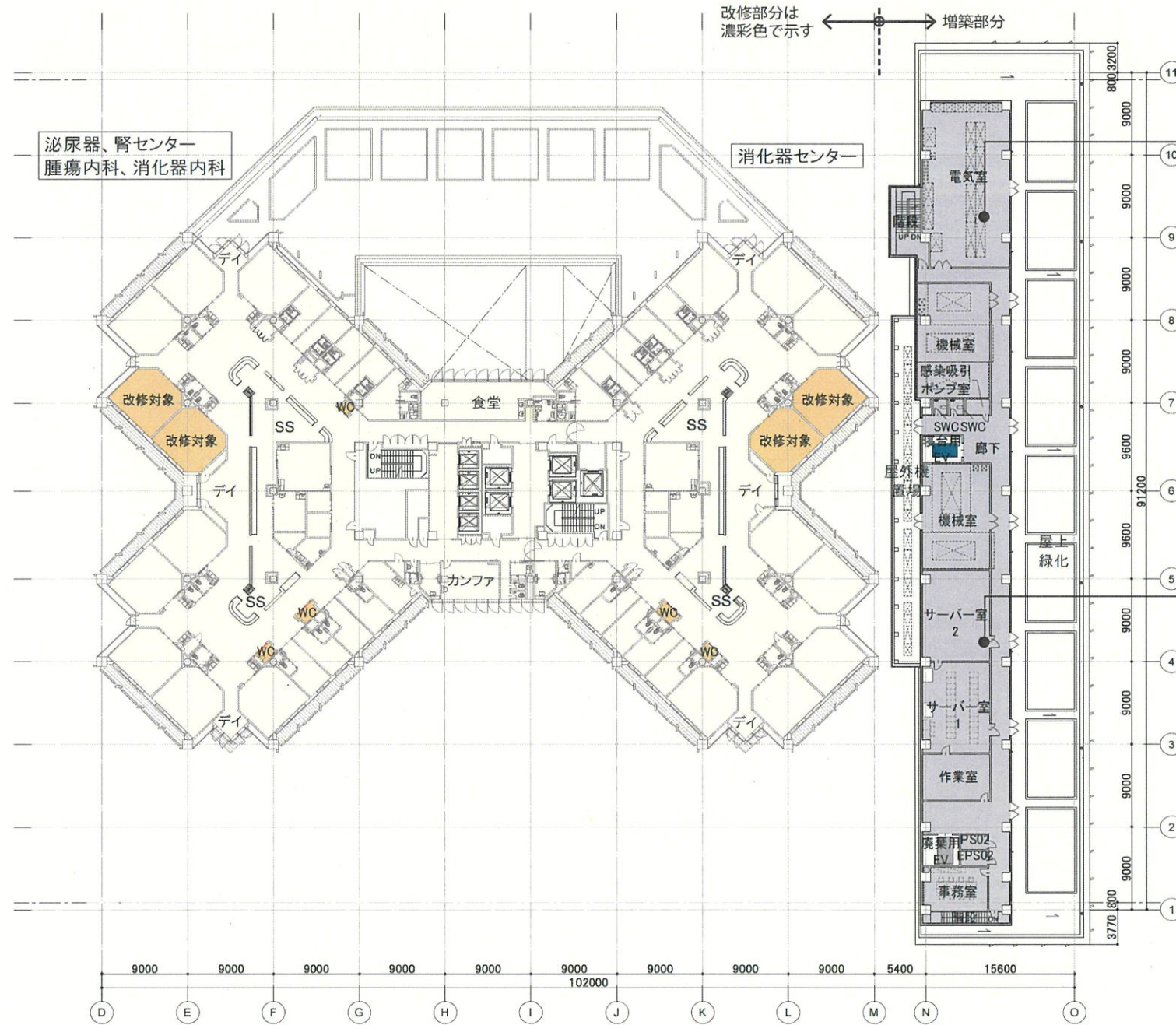


4階平面図 scale : 1/600

平面計画 6 (6階)

増築部分のメイン機械室等を計画する。

システム管理部門を集約し、サーバー室の拡張を計画する。

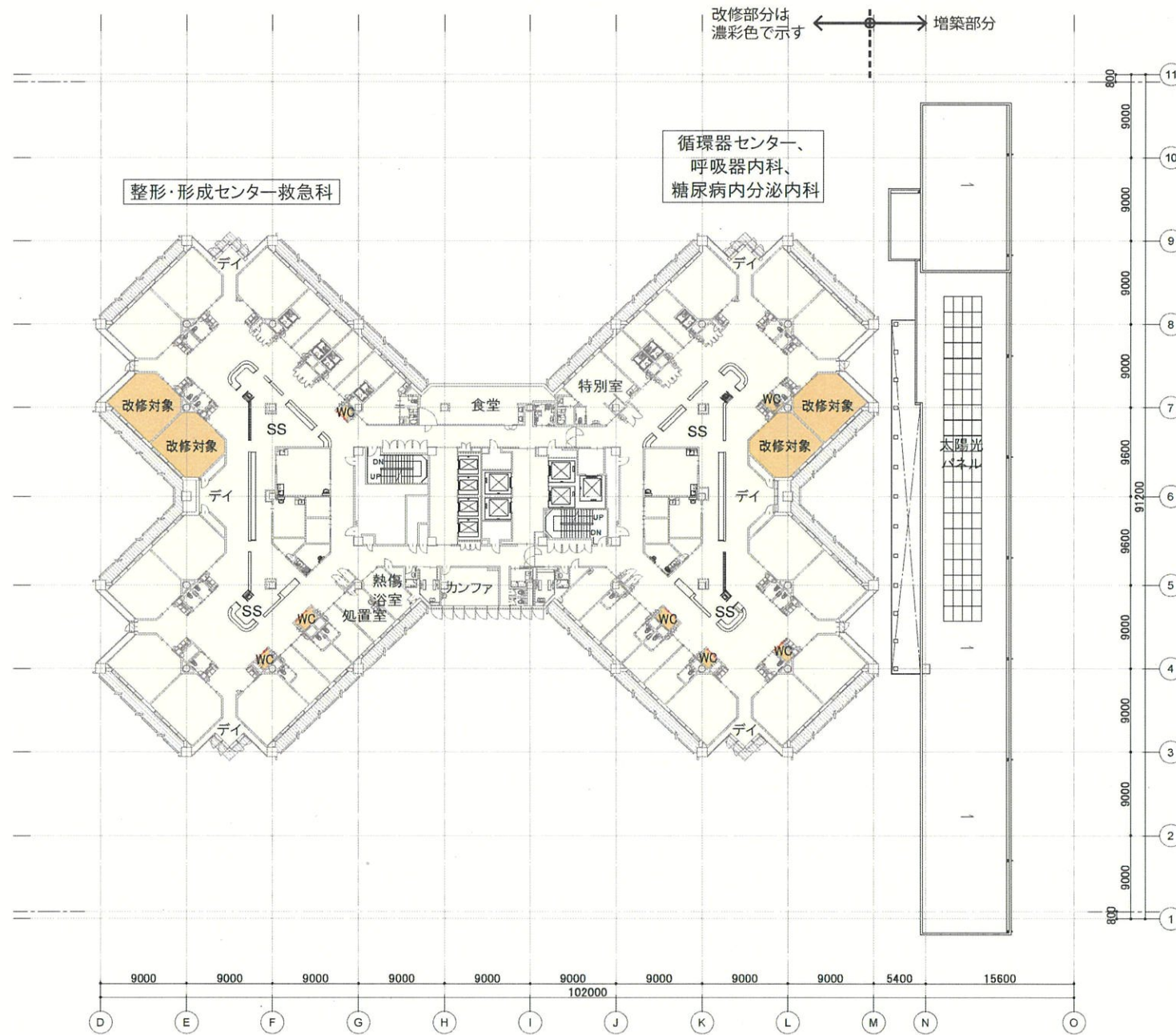


【機械室・電気室】
 増築部分のメイン機械室及び電気室を配置、メンテナンスは廃棄用エレベーターを活用、患者との動線交錯がない計画とする。
 下階病棟への騒音、振動対策としては、低振動型機器の選定やシンダーコンクリート打設や防振ゴムを設置するなどの対策を行う。

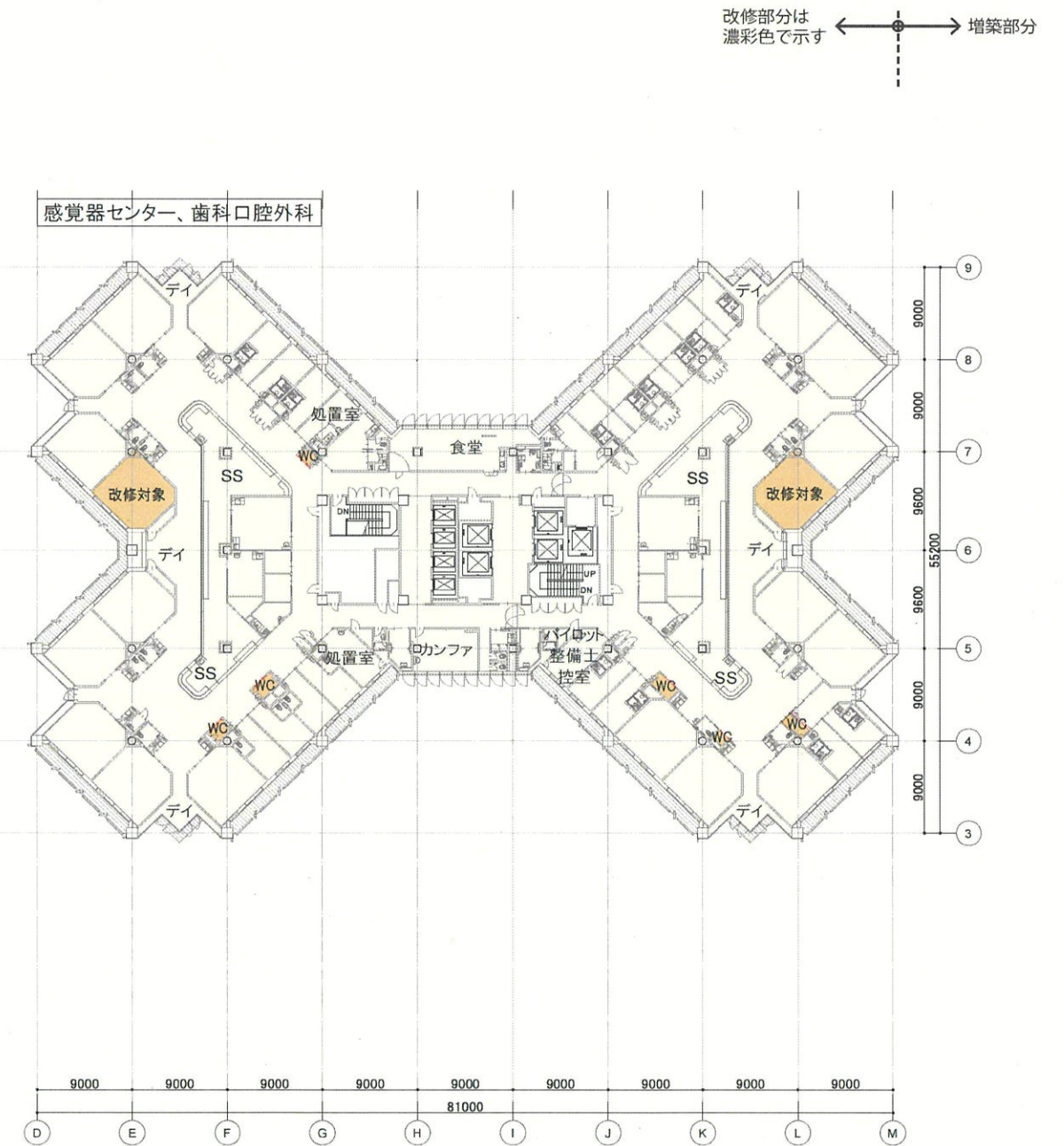
【システム管理部門】
 分散しているサーバーを1か所に集約し、管理が行いやすく、セキュリティを高めた計画とする。
 サーバー室は、将来の拡張、サーバー機器の入替に柔軟に対応できるスペースの確保を行う。

6階平面図 scale : 1/600

平面計画 7 (7階-8階)



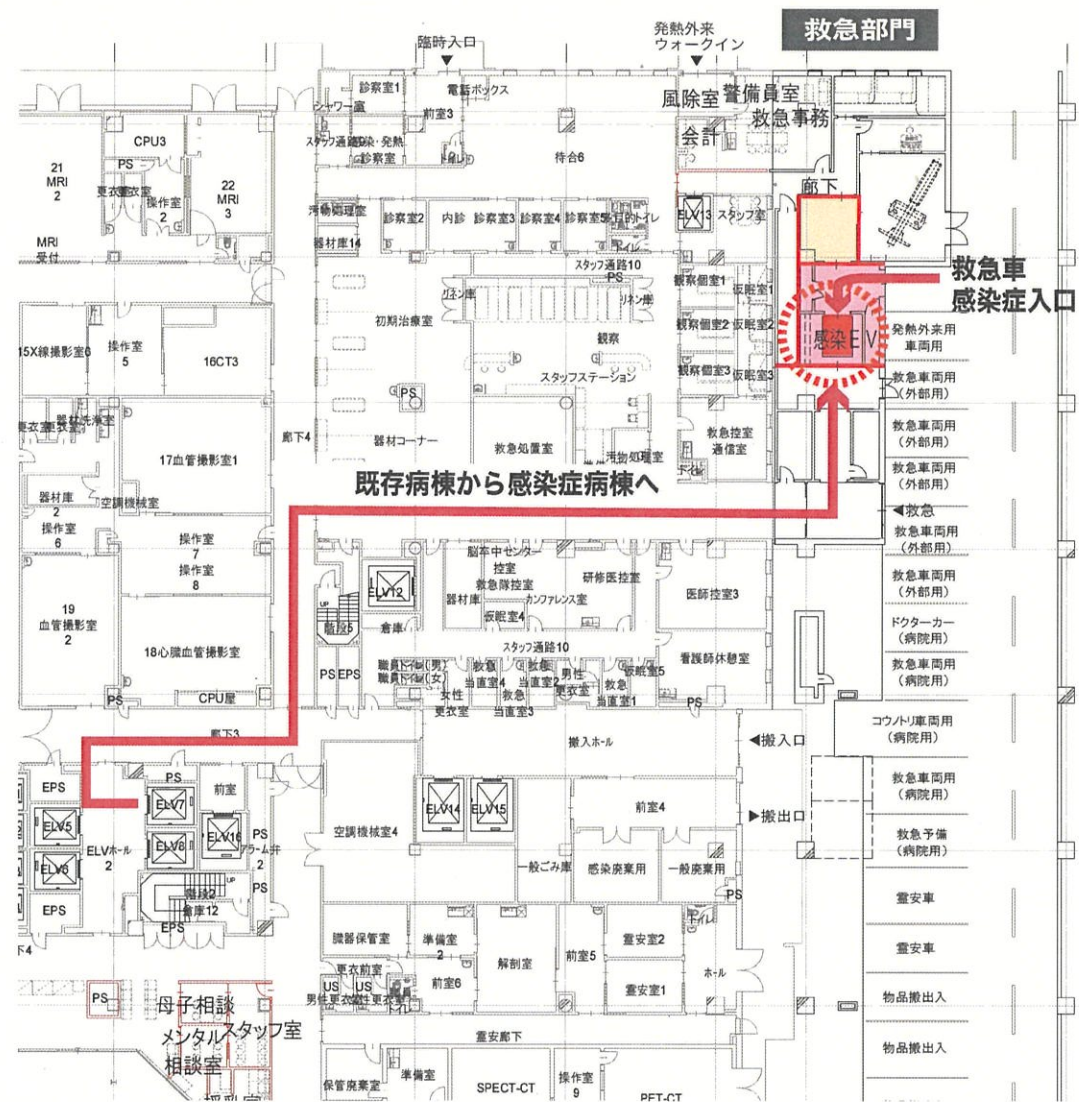
7階平面図 scale : 1/600



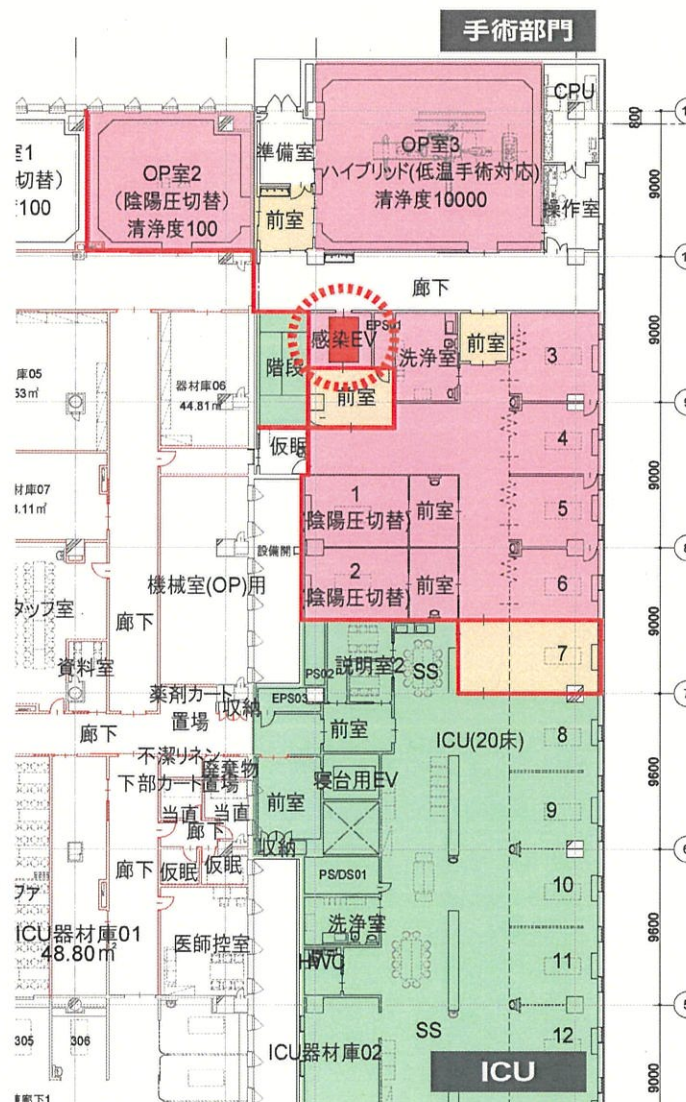
8階平面図 scale : 1/600



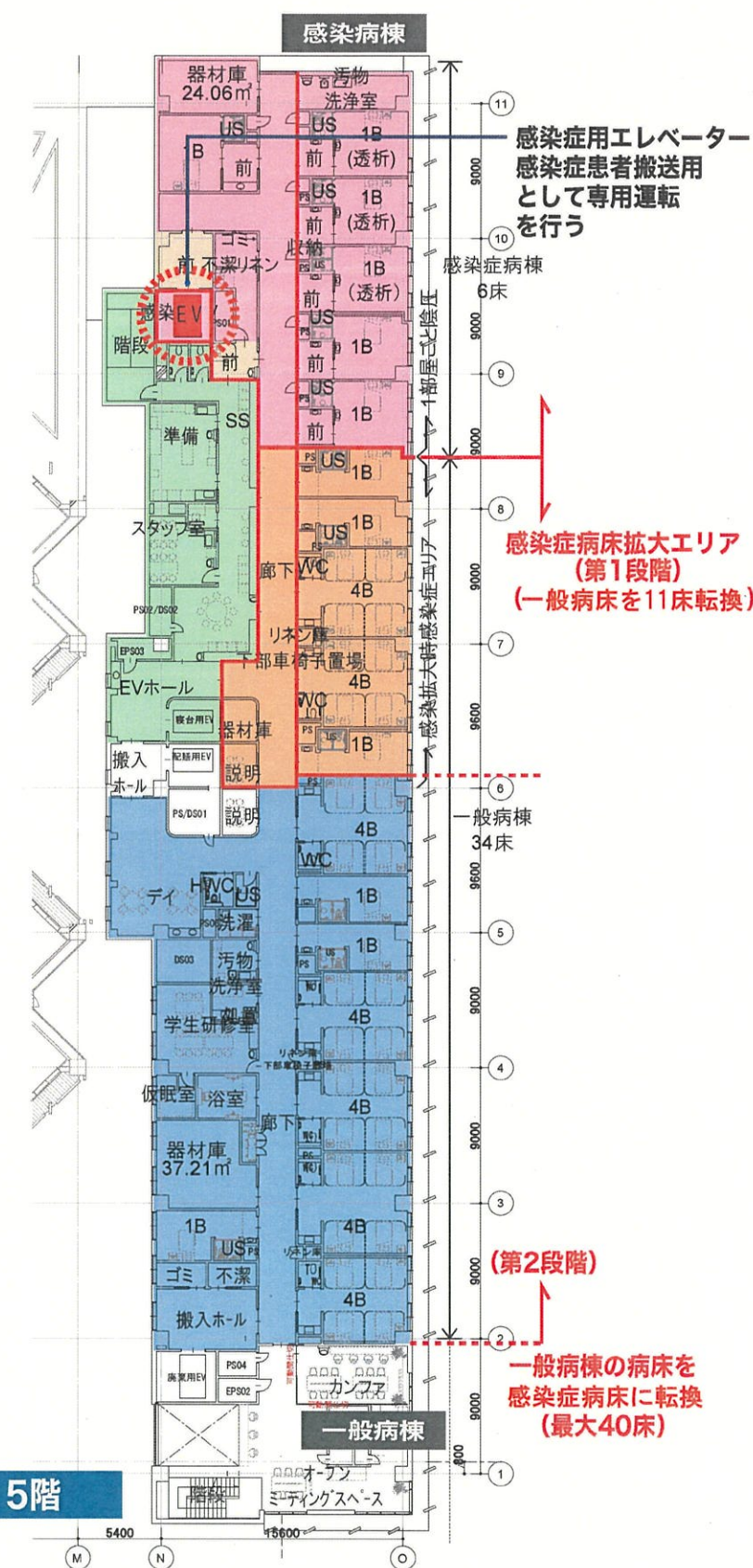
感染症対策



1階



3階



5階

【凡例】 清潔区域 準清潔区域 汚染区域 感染症病床拡大エリア (第1段階) 感染症病床拡大エリア (第2段階)

- ・増築部分に感染症入口と感染症専用エレベーター (EV) を設置。感染症専用エレベーターを起点に感染症 ICU、感染症病棟をそれぞれ明確に動線分離を行う。
- ・感染症拡大時には、5階一般病棟を感染症病棟に変更できる計画で、最大40床の運用を実現する。
- ・清潔区域と汚染区域を明確に分けた平面計画で院内感染を防止、患者とスタッフの安全性を第一とした計画を行う。
- ・院内感染防止に貢献する、掃除しやすい材料等の選定を行う。